

有田川町議会広報 かわら版

第55号

令和元年11月発行

QRコードから
議会の情報
をご覧ください



有田川町議会 検索



よーど

令和元年第3回定例会 8人の議員が登壇！ 住民生活に密着した議論を展開

一般質問

こんなことが
取り上げられました

令和元年第3回定例会の一般質問は、
2019年9月12日に行われました。

8人の議員が「地域おこし協力隊の現状
と今後」「健康で長生きできる支援事業」「ゲ
リラ豪雨に対応した雨水対策」「有田川町公
式ホームページ」「定住促進」「町内の防犯
対策」「会計年度任用制度」「幼児教育無償
化」などを質問しました。

次回、令和元年第4回定例会の一般質問
は、12月12日・13日に予定しています。

1. 椿 原 竜 二…… 3ページ
2. 佐々木 裕 哲…… 4ページ
3. 殿 井 堯…… 5ページ
4. 小 林 英 世…… 6ページ
5. 岡 省 吾…… 7ページ
6. 片 畑 進 之…… 8ページ
7. 増 谷 憲…… 9ページ
8. 堀 江 眞智子…… 10ページ



発信力の強化に向けて 地域おこし協力隊の現状と今後

椿 原 竜 二

ホームページの 充実に向けて

問 現代社会において、情報の発信力は大変重要なものであると考える。

本町のホームページへのアクセスは、1日平均どのくらいあるのか。また、アクセスが多い時期、ページは何か。

答 1日平均1414回のアクセスがあり、スキヤコスモスがきれいな秋の行楽シーズン、連休やイベントの時期が特に多い。アクセスの多いページは、「観光関係」「子育て・教育関係」である。

問 ホームページを全体的に充実させていくことは必要だが、特に重要なページは明確である。

昨年度は、コスモスパークの開花状況を把握するため、職員が頻繁に足を運ん

でいたと記憶している。

四季折々の風景が楽しめる「あらぎ島」や「コスモスパーク」「生石高原」などの観光スポットにライブカメラを設置すれば、町内外へのPRだけでなく、職員の負担軽減にもつながるかどうか。

答 問い合わせが多いので、状況を把握するため、頻繁に確認している。

ライブカメラは効果があると考えてるので、検討していく。

問 昨年度、約712万円かけてホームページの刷新を行い、見栄えは良くなったが、内容が充実しているとは感じない状態である。

現状の更新体制をどのように認識しているのか。

答 現状で十分とは思っており、満足できる内容でないことも理解している。

更新体制は、個々の担当で原案を作成後、課内で共有し、課長が承認するのを基本としている。

ページの閲覧時間なども調査し、刷新が必要なページは速やかに更新していく。

地域おこし協力隊の 現状と今後は

問 生産量日本一のぶどう山椒生産地として、抱えている課題が多くある。

本町の地域おこし協力隊は、目的をしっかりと持った上で募集し、取り組まれていると理解をしている。

昨年10月より活動が開始され、そろそろ1年が経過するが、この期間どのような活動に取り組んできたか。

答 始めの3カ月くらいは、境川・日物川・遠井地区を

中心に、耕作状況や今後の見通しなど、戸別訪問による聞き取り調査を行った。

本年4月以降は、境川と清水に農地を借りて、ぶどう山椒の栽培に取り組んでいる。

問 地域にもなじみ、活躍しているとの声を聞くが、どのように評価をしているか。

答 地域のため、自発的に熱心に取り組んでくれている。

問 地域おこし協力隊は、本町にとって効果のあるものだと感じている。総務省から、特別交付税措置の支援も受けられる。

答 隊員を増員してはどうか。できるだけ早く募集をかけて、来てもらえるようにがんばりたい。



健康で安心安全 長生きできる町づくりを



佐々木 裕 哲

長生きできる
町づくりを

問 高齢者および要支援介護者数の推移は。

答 合併後、人口は2699人減少。65歳以上237人、75歳以上456人増加。65歳以上の高齢化率は約32%となっている。

要支援、要介護者は1705人で、少し減少傾向である。

問 健康診断、人間ドックの受診者数はどうか。また町負担額と医療費は。

答 国保会計にて40歳以上の方の特定健診は自己負担なしで行っており、2043万円、対象者数5620人中、2139人（約38%）が受診している。

人間・脳ドックは費用の80%を助成し、2313万円で944人受診している。国保被保険者数は8070人で年間総医療費は27億8

200万円、一人当たり34万4000円となっている。後期高齢者医療の被保険者数は4875人。年間の医療費は、44億9000万円。一人当たりが92万1000円になる。9年間で約9%増加している。

問 各種がん検診はどうか。

答 胃、大腸、胸部、前立腺、乳房、子宮は自己負担なしで2790万円の予算、8352人が受診している。

敬老会運営の
あり方は

問 旧町別の敬老会対象者数は。また、一人当たりの経費はいくらになるのか。

答 敬老会対象者は70歳以上であり、今年は吉備地区が2975人。町主催の余興委託と記念品（タオル）で約280万円となっている。

金屋地区は2351人。清水地区は1363人。両



吉備地区敬老会

地区は各区へ委託し、一人当たり2400円で合計890万円となっている。

意見 敬老会へ行くことができない人もいる。特に

吉備地区への予算は一人当たり960円であり、差がありすぎるので一度検討し

地すべり対策は

問 町内に地すべり指定区域は何カ所あるのか。旧町別に聞きたい。

答 吉備地区に1カ所、金屋地区に8カ所、清水地区

に11カ所、合計20カ所が指定を受けている。

問 特に問題が懸念されているところを把握しているのか。町、県からの支援はどのように考えているのか。

答 今年度は金屋地区の3カ所で事業着手しており、吉備地区は昨年対策工事を完了し、経過を観測しているところである。今後も地すべり対策の必要な箇所は県に対し、強く事業化を要望していく。

問 人的被害が予想される箇所は調査をしてはどうか。

答 問題のある箇所に変化があれば県に報告と要望を行い、再調査してもらう。



住居床下の地すべり状態



頻発するゲリラ豪雨 浸水対策を急げ!

殿 井 堯

排水路への
雨水対策は急務だ

問 ゲリラ豪雨などのたびに災害が心配される。台風時などの雨水が河川へ集中し、あふれて住宅地に流れ込む。計画中と言わず、早急な対策を実施してはどうか。

答 雨水対策は多額の事業費が必要となるため、まず下水道事業が完了した時点で判断していきたい。

ただ、他の事業で排水路などの工事を計画する場合、雨水対策事業での解析調査資料もあり、これを活用し実施している。

また、国土交通省の地方整備局に緊急災害対策派遣隊がある。そこに配備している35台の大型ポンプ機を活用することができる。



河川敷内(中央大橋付近)の雑木

問 緊急策として、有田川の土砂や樹木の撤去で河床を下げれば、天満川や鳥尾川が増水しても対応できるのではないか。

答 今年度、金屋橋から中央大橋までの間で、土砂や樹木を撤去する。また今後も予算要望していく。

所有者の分からない
空き家への対策は

問 維持管理されず、樹木などが道路へはみだし、近隣住民の迷惑になっている空き家がある。しかも、所有者が分からない場合、対応もできない。こういう場合、町が責任をもって解決していただきたい。また、法的に対応できないのか。

答 道路利用者に危険を及ぼさないよう、家の所有者が責任をもって管理する必要がある。迷惑になっている空き家は、区長からの要望を受け、現地確認し「空家等対策の推進に関する特別措置法」で適切な管理をするよう所有者に文書での対応をしている。

空き家の所有者が不明の場合、町が所有者を探し、判明すれば文書で対応を依頼する。しかし、所有者が見つからない場合で緊急に

対応しなければならぬときは地元から要望を出してもらい、町が「特定空家等」と判断すれば、樹木撤去などを公告する。

その期間が過ぎても撤去しなければ、町の方で撤去できる略式代執行で対応する。



放置された空き家から道路へはみ出した枝木

市街地に出没するイノシシ対策は わが町のイメージアップを



小林 英世

住宅地のイノシシ 今後の対策は

問 先日、御霊小学校の校区でイノシシが出没した。経過と現状は。

答 6月上旬から目撃情報が増え、関係機関と連携し安全最優先で対応した。特に担当課は勤務時間外

のイノシシ対応に追われた。鳥獣被害防止対策協議会などの協力で「箱わな」を設置し、8月上旬、猟友会の「わな」で捕獲した。その後、目撃情報は少ない。

問 今後、このような事態が増加すると思うが、対策はどうか。

答 住宅地と農地が混在している地域でも、耕作放棄地が増えることにより、繁殖環境が整って鳥獣被害の増加が懸念される。

関係機関と連携を深め、安全確保を最優先に取り組

む。鳥獣被害防止対策協議会や地元猟友会のご協力のほか、地域の農家さんのご協力を得ながら、駆除促進や被害防止に努めたい。

防護柵や捕獲に対する補助金も用意している。農家の皆さんには「自分の農地は自分で守る」ことが獣害対策になることをご理解いただきたい。

問 駆除したイノシシが大量になると焼却処分ができない。処分ができない場合は、焼却炉を求めたい。有田聖苑に焼却炉を求めたい。有田聖苑に焼却炉を求めたい。

答 1市2町（有田市・有田川町・広川町）で協議していく。



小動物用焼却炉（有田聖苑）

ホームページで イメージアップを

問 刷新したホームページの現状はどうか。

答 見やすく使いやすいように改定した。また、スマートフォンやSNS、多言語対応などを施した。その結果、昨年度よりもアクセス数が増加している。

問 観光や移住のサイトは町外の人の閲覧が多く、他の地域と比較しやすい。

答 内容が不十分であれば町のイメージダウンになる。現状は更新が遅く、内容も課題が多いと思う。今後、どのように充実させていくのか。

答 閲覧者の立場での作成を全職員で共有する。速やかな更新に努めるとともに、写真や動画を多用し、魅力あるホームページづくりをしていく。

藤並駅東口 男子トイレの 洋式化は

問 藤並駅を訪れた来町者が「東口男子トイレには洋式がない」と憤慨していたと聞いた。藤並駅は有田川町の玄関だ。このようなことが町のイメージダウンにつながると思うがどうか。

答 東口男子トイレは洋式を設置するスペースがなく、和式のニーズもある。当分の間は多目的トイレを使っていたようにする。



藤並駅東口の多目的トイレ

問 西口のトイレも貧弱だ。今後、改修する計画はないのか。

答 どのような方法がいいのか検討したい。



危険を伴う排水路の雨水対策は 人口問題に関わる定住促進施策は

岡 省 吾

排水路 危険性の把握は

問 豪雨時、冠水する地域の排水路改修要望の現状は。

答 冠水する地域の関係区からは現在、7カ所の要望があり、これまで3カ所が改修済みである。今後、地域の要望も踏まえ、緊急性の高いところから随時、改修していきたい。

問 豪雨による越水で、道路と排水路の境目が分からなくなり通学路や避難路も大変危険だ。早期の対策を。

答 転落の危険が予測される箇所の安全対策として、防護柵などの転落防止対策を講じたい。

問 排水路改修とともに、水の流れを受ける支流の改修整備が進まないと、根本的な問題解決に至らない。また雑木などが生い茂り、水

の流れを阻害している支流もある。除去に関して県への申し入れを。

答 県において、各支流の河川改修事業を実施中だが、全面改修には至っていない。今後も早期全面改修に向け、有田川河川改修促進協議会と連携しながら、県に強く働きかけていく。また堆積土砂の浚渫を随時実施しているが、流れを阻害する雑木などの撤去も、現場を確認して、早期に除去できるよう県に申し入れる。



雑木などが生い茂る支流（天満川）

定住促進に向けての 考えは

問 町は、人口の将来ビジョンとして「2060年2万人以上」を目標に掲げている。

定住促進に向けての考え方は。

答 移住・定住施策の重要な要素は「住まい」と「仕事」であると認識している。今後も、移住や定住を希望する方のニーズに合った取り組みを推進していく。

問 居住施策の一つとして空き家バンク登録の取り組みも重要だと考える。登録数の現状と移住をメインとした問い合わせ件数は。

答 物件の登録数は18件で、今年度新たに4件の登録。移住に関する問い合わせ件数は、昨年度が90件で、今年度は58件。空き家に居住を始めた方は1世帯1人である。

問 仕事づくりの取り組みは。

答 農家や事業所から人材不足を訴える声を受け、移住希望者に働く場を紹介できる仕組みづくりを、農家や事業所などの協力を得ながら進めていく。



人口減少に悩む山間地域

問 町ホームページ上で、移住・定住に関する情報量が、他の市町村と比べてかなり少ないように感じる。

手軽に「住まい」や「仕事」の情報を得られるよう、またその内容も含めて、情報提供に努められたい。

答 ホームページを全面的に刷新してから日も浅く、指摘の点も否めない。閲覧者が求める情報を、より満足度の高いものとなるように改善していきたい。

町内の防犯対策と 案内表示板の設置状況は



片 畑 進 之

町内の 防犯カメラの状況は

問 昨今、全国で子どもや高齢者が、事故や事件の被害者となる痛ましい事件が多発している。幸い本町に大事件や事故はないが、それらを予防し、事件解決のために、防犯カメラの設置が大変重要である。

特に通勤や通学路、各学校、主要交差点、藤並駅、インターチェンジへの設置が必要だ。町内の防犯カメラの台数や設置状況は適正か。

答 本町の防犯カメラ設置状況は、藤並駅や各学校などの町有施設に52台設置している。交差点やインターチェンジは警察などが設置しているところもある。犯罪抑止効果は未知数だが、事件事故などの解決に役立つことがマスコミなどによって報じられている。

それが、住民の期待感や安心感につながっている。

本町の設置状況は十分ではないが、コスト面、管理、プライバシーなどの問題や周辺住民の理解が必要だ。ただちに多くのカメラを設置することは現時点で困難である。

しかし、効果を考慮すれば、町有地への設置を、今後、検討していきたい。市街地は網羅できているが、山間部も考えていきたい。

問 防犯カメラの設置費用は、また、管理者はどこか。
答 平成29年にポッポ道に設置した費用は1台46万円であった。管理は各施設の担当課が行っている。



藤並駅に設置している防犯カメラ

案内表示板の 設置状況は

問 金屋文化保健センター周辺に金屋庁舎への案内表示板がない。また、隣接の公衆トイレに開設時よりトイレ表示板がない。設置してはどうか。

答 金屋庁舎と金屋文化保健センターへの案内板は中井原地内の国道424号沿い明德寺前、町道中野金屋線の2カ所にあるが、住民や来訪者から分かりづらいと聞く。
金屋庁舎への案内板を金

屋橋から金屋庁舎までの間に、また金屋文化保健センター前トイレの表示板設置を検討する。

問 「きび保健福祉センター」へのアクセス案内表示板もないが設置してはどうか。

答 社会福祉協議会で設置の検討をしている。

意見 制作する表示板に町章やマスコットキャラ入りの看板を設置するよう検討されたい。



表示板のないトイレ (金屋文化保健センター前)



今回の保育料無料化には 問題点がある

増 谷 憲

住宅リフォーム実績

有田市

単位 円

年度	件数	助成額	総事業費	備 考
H27	61	9,778,000	77,600,000	国の交付金事業
H28	31	6,000,000	66,400,000	市単独予算
H29	33	6,000,000	50,360,000	〃
H30	33	5,999,000	61,830,000	〃
H31	32	5,998,000	54,420,000	〃

主に、外装工事、(塗装、雨漏り、屋根、防水工事)

内装、キッチン、トイレ

市内業者が受注

初日の募集で受付件数が上回るため、抽選で決めています。

広川町

単位 円

年度	件数	助成総額	総事業費	補助額
H27	64	19,003,000	27,345,150	30万円
H28	27	9,928,000	29,183,342	2分の1、50万円
H29	24	9,966,000	28,715,466	〃
H30	24	10,045,000	26,807,668	〃

住宅リフォーム
制度化を

会計任用制度で非常
勤職員などの待遇は

問 住宅リフォーム制度は住環境の向上と地域経済への波及効果が大きい。有田市や広川町の実績(別表参考)からも制度化としてはどうか。

答 どのくらい経済効果があるか精査して検討する。

問 制度が運用されると、非常勤職員などの期末手当が支給されるようになり、待遇が改善される。しかし、正規職員を減らす口実にならないか。公務には正規職員での対応としてはどうか。

答 正規職員が必要な部署には配置し、非常勤職員での対応もしていく。

問 待遇改善の財源はどうなるか。

答 普通交付税により措置される見通し。

問 実施時期はどうか。

答 令和2年4月1日から施行。条例案は12月議会に提案する。

保育所給食の 副食費無償化を

問 10月1日から保育所や幼稚園の利用料は「3歳児から5歳児」の世帯は無料。また、「0歳児から2歳児」がいる年収約250万円未満の住民税非課税世帯は無料となる。

答 しかし、試算では0歳から2歳児のいる世帯で無料にならない状況も出てくる。制度に問題があるのではないか。

また給食費のうち、副食費は保育の一環である。他町では子育て世代を支援するために無償化したり、4割の負担で済むよう支援する市町村もある。本町も無償化してはどうか。

答 考え方が違うので、従来どおり、副食費の無償化はしない。月4500円徴収する。

問 事業所内の保育所(認可外保育所)も対象になるか。保育料の支払いはどうなるか。

答 対象になる。保育料の支払い方法は協議中である。



運動会の練習(藤並保育所)

保育所給食費を無料に 個人情報提出は



堀 江 眞智子

保育所の
給食費を無料に

自衛隊への
個人情報提出は

問 保育料の無料化を保護者はとても喜んでいて。しかし、給食費が有料であれば喜びも半減に。給食費を無料にする市町村もあると聞く。

本町も給食費を無料にしているのか。

答 金額の問題ではない。子育て支援は、他市町に比べて十分やっている。考え方が違う。給食費は徴収する。

意見 子育て支援は重要だと言いつつ、給食費の無料化は考えていないという。ぜひ、無料にするよう求めておく。



問 本町は閲覧での対応だったが、その後対応を変えたのか。

答 平成31年4月11日付けの自衛隊和歌山地方協力本部長からの依頼により、自衛官および自衛官候補生募集のために必要な募集対象者情報は、自衛隊法施行令の規定により対象者名簿を提出した。これまでは閲覧だったが、災害時の協力の面などを考え、紙媒体での提出が良いと考えた。

問 重要な決定を、町のような場で決めたのか。

答 自衛隊の人員確保は大切だと認識している。また、総務政策部で法的に問題がないと解釈し、町長・副町長とともに検討した結果である。

●自衛隊による閲覧状況

閲覧申請者	閲覧事由	件数	閲覧の範囲	年度
防衛省 自衛隊和歌山 地方協力本部長	自衛官等の募集に伴う広報	297	17,18歳 H5.4.2-H.6.4.1の男女	H23
		304	17,18歳 H6.4.2-H.7.4.1の男女	H24
		289	17,18歳 H7.4.2-H.8.4.1の男女	H25
		323	17,18歳 H8.4.2-H.9.4.1の男女	H26
		306	17,18歳 H9.4.2-H.10.4.1の男女	H27
	陸自衛隊高等工科学校の生徒に関する募集に伴う広報	151	15,14歳 H12.4.2-H.13.4.1の男	H27
	自衛官等の募集に伴う広報	276	17,18歳 H10.4.2-H.11.4.1の男女	H28
	陸自衛隊高等工科学校の生徒に関する募集に伴う広報	135	15,14歳 H13.4.2-H.14.4.1の男	H28
	自衛官等の募集に伴う広報	289	17,18歳 H11.4.2-H.12.4.1の男女	H29
	陸自衛隊高等工科学校の生徒に関する募集に伴う広報	149	15,14歳 H14.4.2-H.15.4.1の男	H29
	自衛官等の募集に伴う広報	274	17,18歳 H12.4.2-H.13.4.1の男女	H30
	陸自衛隊高等工科学校の生徒に関する募集に伴う広報	120	15,14歳 H15.4.2-H.16.4.1の男	H30

問 個人情報の提供は、プライバシー権・自己情報コントロール権の問題があると懸念する有識者（弁護士など）の声もある。本人に確認することや知らせることをせず、個人情報が提出されたことは問題にならないか。

答 個人情報保護条例で、法令等に基づくときに個人情報の提出ができることになっている。何ら問題はないと考える。

問 自衛隊へは以前より多くの情報を提出していないか。また、何名分を提出したのか。

答 提出した情報は、氏名・性別・住所・生年月日で、平成13年4月2日から平成14年4月1日までの間に生まれた263人。

*この他に、身体障害者連盟の活動について質問を行った。

一般会計
補正予算

3億8440万円 可決

アニメーションにスポットを当てた事業が始まる
八幡小学校のトイレを大規模改修など

令和元年第3回定例会は、9月3日から18日までの日程で開催し、本定例会に提案された議案は、原案の通り可決しました。

なお、平成30年度一般会計決算ならびに各

特別会計決算も上程されましたが、水道事業会計決算以外の決算認定については休会中に決算審査特別委員会で審査し、12月定例会において採決します。

単位 万円

項	目	金額	おもな事業内容
総務費	地方創生推進交付金事業	1100	アニメの世界とボクらの未来プロジェクト関連事業
	地方創生拠点整備事業	18785	ALECリニューアル改修工事（照明LED化など） 絵本の館（仮称）建築工事、スマート図書システムなど
民生費	保育所費	2000	二川保育所（平成26年閉所）解体撤去工事など
衛生費	保健センター費	50	きび保健福祉センターの運動器具購入（住民からの寄附金）
農林水産業費	農地費	1800	ため池ハザードマップ作成業務委託料
消防費	消防施設費	194	消防団に油圧ジャッキ配備、消火栓ホース格納箱修繕など
	災害対策費	50	自主防災組織資機材購入費（生石地区）
教育費	学校管理費	7193	八幡小学校トイレ大規模改修工事費（測量設計含む）
	文化財保護費	219	上湯用水路（あらぎ島への用水）災害復旧工事



解体撤去予定の二川保育所



ALECに設置予定の「ふわふわドーム」

質
疑

問 障害者福祉費プログラム変更委託料220万円は、就学前障害児発達支援無償化に伴うシステム変更分であるが、対象人数は何人か。

また、月額4600円の方、月額3万7200円の方で無料になるのはそれぞれ何人か。

答 合計65人の見込み。

そのうち4600円の方で58人。3万7200円の方で2人。もともと無料の方が5人ある。

問 畜産経営環境整備事業補助金435万円は、鶏糞撤去のための重機購入がおもな内容だが、入札にできないのか。

答 各申請事業者の衛生的に処理する方法で、どれが適切な方法かを、県が判断して業者を決めた。



花の里公園の炊事場

問 ため池ハザードマップ作成業務委託料1800万円の対象池はいくつか。また委託先はどこか。

答 新たに「防災重点ため池」となった46池が対象。委託先は検討中である。

問 観光費の修繕料21万6千円は、花の里公園の炊事場などの修繕と聞くが、ほとんどまつり開催日までに間に合うのか。

答 開催日までに完了できる。

問 小学校トイレ大規模改造工事費6734万2千円の内容と工期はどうか。

授業に影響は出ないか。

答 八幡小学校の給食調理棟、校舎と体育館のトイレを多目的トイレ（オストメイト対応）に改修する。また単独浄化槽のやり替えである。工事は、令和2年の夏休み期間中を予定しており、授業への影響はないと考える。



八幡小学校のトイレ（大規模改造予定）

問 公共施設整備基金は、4970万円を繰り入れた後、積立額合計はいくらになるか。

答 28億1929万9000円となる。

条例の一部改正・制定・廃止

印鑑条例の一部改正
町立保育所条例の一部改正
教育・保育給付に係る利用者負担額に関する条例の制定
特定教育・保育の実施に関する費用徴収条例の廃止
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
手数料徴収条例の一部改正
消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正
水道事業給水条例の一部改正
水道事業の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正

条例改正の質疑

問 幼稚園の利用料は新制度に移行していないため償還払い（いったん保護者が立て替えて後で払い戻す）になるのか。

答 今、協議中で結論は出ていない。

問 町内の認可外保育所に通っている事例はあるか。

答 1施設ある。

意見 利用料は毎月払わなくてもいいようにすべきである。

問 利用料無償化の財源はどうか。

答 初年度の半年間は臨時交付金で対応する。

専決処分

一般会計

1459万6000円
6月の豪雨により災害が発生し、緊急に災害復旧事業等を実施し、住民生活の安全を確保する必要があるため。



開閉器が故障し仮復旧中のしみず園（9月時点）

特別養護老人ホーム等 事業特別会計

275万4000円
8月発生 of 雷の影響による停電のため、電気設備に障害が発生し、早急に復旧する必要があるため。
（電柱の高圧電力引込開閉器などの修繕）

◎町道3件
本堂中峯線 350万円
西村線 120万円
中生石高原線 180万円
◎林道1件
三瀬川清水線 800万円

小型動力ポンプ付積載車
734万4千円（2台）
金屋支団に更新配備
・第5分団 西ヶ峯下班
・第6分団 吉原班

財産の取得



町道1016号線の現地調査

道路線の認定

町道1016号線（下津野）
幅員 6m
延長約 164m

平成30年度の財政指標	比率	早期健全化基準	財政再生基準	用 語 解 説
実 質 赤 字 比 率	－	13.35	20.0	一般会計などにおける実質赤字額の標準財政規模に対する割合
連 結 実 質 赤 字 比 率	－	18.35	30.0	町のすべての会計を合計して生じた赤字額の標準財政規模に対する割合
実 質 公 債 費 比 率	12.6	25.0	35.0	すべての会計における一般会計が負担する元利償還金などの標準財政規模に対する割合
将 来 負 担 比 率	8.6	350.0		一般会計などが将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する割合

平成30年度水道事業
会計剰余金の処分
および決算認定

9月18日、平成30年度水道事業会計剰余金の処分および決算を認定しました。

決算数値のうち、有収率（総配水量のうち収入となった水量の割合）が大きく低下していたため確認したところ、大規模な漏水が原因で、すでに改修済みとのことでした。

漏水の発見には住民の皆さま方からの情報提供が大きな助けになります。道路などで水道管からの水漏れを発見した場合は、水道課に連絡いただきますよう、皆さまのご協力をお願いいたします。

今後も、長期的な展望で水道使用量に関する検証をお願いするとともに、災害時の対応も含め、今後とも安心して飲め、安定した水の供給体制づくりに、なお一層励まれることを要望しました。

	平成30年度	前年度との比較	内 容
給 水 件 数	6742件	110件増	給水件数の増加に比べ給水人口の増加が少ないのは、一人世帯や事業所の増が原因だと思われます。
給 水 人 口	16319人	42人増	
純 利 益	109,656千円	16,773千円減	有収率の低下が減益の主な原因です。
営 業 利 益	42,069千円	15,364千円減	
企業債未償還残高	549,900千円	58,664千円減	平成30年度は新規企業債を発行していません。
当年度末処分利益剰余金	138,338千円	50,334千円減	資本金に1900万円、建設改良積立金に1億円積み立てます。
供給単価（1㎡）	167.00円	0.76円上昇	供給単価が167円、給水単価が135円60銭であるため、料金収入のみで必要経費が賄われています。
給水原価（1㎡）	135.60円	5.23円上昇	

決算審査特別委員会委員

●は委員長
○は副委員長

小 林 英 世	星 田 仁 志	堀 江 眞 智 子	増 谷 憲	椿 原 竜 二	中 島 詳 裕	片 畑 進 之	谷 畑 進	林 宣 男	岡 省 吾	森 谷 信 哉	新 家 弘	湊 正 剛	亀 井 次 男
---------	---------	-----------	-------	---------	---------	---------	-------	-------	-------	---------	-------	-------	---------

* 殿井議長と佐々木
監査委員は除く

*平成30年度一般会計決算
ならびに各特別会計決算は
休会中に審査し、12月定例
会において採決します。



岡山県西栗倉村は、鳥取県との県境に位置し、人口1,456人、面積は約58km²、うち93%が森林で、そのうち84%が人工林です。

百年の森林構想 岡山県西栗倉村



新生児に贈る木のおもちゃ

平成20年度に「百年の森林構想」を着想。百年の森林創造事業として、個人所有の森林（大半が約50年生）を10年間村役場で預かり管理。ひとまとめにして全ての経営リスクを引き受けています。民間と森林組合、行政の役割分担を明確にするという考えのもと、森林所有者の費用負担はなく、施業は森林組

合が行い、費用は村が負担。木材の販売金は経費を差し引いた後、所有者50%、村50%の分配としています。村が一括管理することで、低コストで効率的な森林整備が可能となり、レーザー航測を用いて路網整備を計画しています。また、村営建造物は全て村内の木を利用しています。

7月25日から26日にかけて、岡山県西栗倉村、鳥取県八頭町で「産業建設住民常任委員会」の視察研修を行いました。



村の木材をふんだんに使っている

廃校の利活用 鳥取県八頭町



教室をカフェスペースに

八頭町は、鳥取市より車で約30分の所に位置し、人口は現在約17,000人弱、面積は約207km²で、うち80%が山林という典型的な中山間地域です。町では、地方創生交付金で空き施設を活用した産業創出プランとして、廃校を活用。情報関連企業のサテライトオフィスなどの誘致により、クリエイターや

起業家（イノベーター）が活躍・発信できるまちを創設しています。隼小学校は、平成6年竣工で平成28年度廃校。鉄筋コンクリート3階建て、延べ床面積約2,100m²の学校跡を、「隼Lab.（はやぶさラボ）」として民間の「(株)シーセブンハヤブサ」に委託。人が集い、遊び、学び、働き、楽しめるというコンセプトを地域や企業、行政が一体となり、新たな産業、雇用を創出する場を作っています。若者たちが中心とな

り、休んだ施設がよみがえり、町が活気に満ちています。他に4校の廃校がありますが「再利用として中学校を小学校や福祉施設に活用。また、民間利用で製造業や農家民泊施設にしている」とのことでした。

森林環境税に 期待したい

本町も「未来の森林」を考えるべく、森林環境税を活用した事業に期待したいと思っています。

また、廃施設の未来を前向きに考える必要性があります。

旧田殿保育所の利活用にも期待し、応援していかなければならないと感じました。

【委員長 谷畑進】



町民が広報に登場 広報編集特別委員会

広報誌の充実に向けて10月3日から4日にかけて、宮城県大河原町、山形県川西町で「広報編集特別委員会」の視察研修を行いました。

QRコードの活用

宮城県大河原町

会」が、発行作業を行っています。

大河原町議会広報は、昭和56年9月議会の内容を掲載したのが始まりです。現在、「大河

原町議会広報常任委員

表紙は、動きのある子どもを中心の写真



豊かな子どもの表情に特化！

を掲載しています。また、各議員の質問などで、結果がどのように実現しているかの追跡記事も載せています。

特徴は、QRコードを各ページに印刷しており、スマホでそのページの内容を見ることが出来ます。例えば、予算や決算の詳しい内容を見ることが出来ます。

アドバイザーの活用

山形県川西町

川西町議会の広報誌は、広聴広報常任委員会が発行しています。

「広聴」の文言が重要で、議会と町民が一体となった、議会だより作成をめざしています。

それは議会改革の二環として位置づけられています。

そうして作成された「かわにし議会広報」



表紙の選択は重要である！

は、全国町村議会広報コンクールで2年連続最優秀賞を受賞するなど、毎年高評価を受けています。

注目点は2つ。

まず、アドバイザーやモニター制を導入し、町民目線の広報誌をめざした点。

2つ目は「広聴」の成果を生かし、町民の記事が多く掲載されることです。その中で「町民の声」という人気ページ

ほしい。

③傍聴者の感想

常任委員会に 向けて

2つの議会を視察して、まず広報委員会は、特別委員会ではなく、常任委員会であること、またページ数も多いので予算的にも本町の倍額を当てていること。町民が参加するページ、写真に子どもが登場すること。分かりやすく表現することを重視していること。文章の直しなどに国語の先生だった方にアドバイザーとして一緒に編集作業にあたっているのがとてもいいと思いました。こういう点は、本町でもできると思いますが、実行していきたいと思っています。

【委員長 増谷憲】

ができ、今では掲載の順番待ちになっています。また、表紙には子どもたちの表情が出る写真で興味を引き、各ページに写真が多く使っています。最後に、有田川町議会広報を見てもらいい感じの点を指摘していただきました。

①写真をもっと多く使い、大きめに載せる。子どもの写真がいいのでは。

②町民との交流記事が



求む!



広報委員会では、議
会広報誌「かわら版」の
表紙を飾る写真・イラスト
など、町民の皆さんか
ら募らせていただいて
おります。

有田川町の名所や風
景など、お気軽にご応募
ください。

皆さんからの意見、
ご感想もお待ちしております。

お問い合わせ ☎ 2213294
吉備庁舎4階 議会事務局まで

議会広報編集

特別委員会

◎◎

増谷 小 椿 中 星 片 岡
英 竜 詳 島 田 畑
憲 世 二 裕 志 之 省

◎は委員長
○は副委員長

編集後記

この号が皆さまのお手
元に届く頃は11月初旬。

季節も移ろい、山々も
次第に秋の装いへ。一年
のうちで一番過ごしやす
い季節、実りの秋。

あらぎ島で行われた稲
刈り体験には、町内外か
ら多くの親子連れが参加。
汗を流しながら懸命に
稲を刈るお子さん、勢い
あまって尻もちをつくお
子さん、無邪気に赤トン
ボやカエルを追うお子さ
んなど、およそ日頃は自
然と向き合うことが少な
いであろう子どもたちの
さまざまな表情にこちら
の心も懐かしさを覚えま
した。

子どもたちの心の成長
に、このような里での体
験は大きいものだと思います。
いつまでも残した
い、そんな里の風景です。

(岡 省吾)